

SPARView Vol 22, No.12 March 23, 2024

**AEC Innovations Newsletter****The B1M と Procore が協力：建設業メンタルヘルス向上**

[How The B1M and Procore are teaming up to raise awareness around mental health in construction](#)

非営利団体 Mental Health America の統計によると、2019 年から 2020 年にかけて、アメリカの成人の約 5 人に 1 人が何らかの精神疾患を経験している。この分野の専門家である英国、米国、オーストラリアの非営利団体と提携しています。現在、彼らは慈善団体と提携して改善に取り組んでいる。

<https://youtu.be/zQ6wUgtwU>

E0 17min 36sec

**DroneDeploy：「State of Reality Capture」レポートを発表**

[DroneDeploy releases a "State of Reality Capture" report](#)

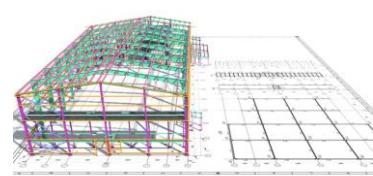
119 カ国を代表する 1447 人の労働者を対象に調査を行った。国別では、米国が 48%と半数近くを占めており、オーストラリア、カナダ、ブラジル、英国、ニュージーランドはいずれも 2%から 5%となっている：大企業は中小企業よりもテクノロジー、特にソフトウェアを多く使用している。

AEC セクターが利用率で群を抜いてトップに立っており、エンタープライズ企業の 4 分の 3(従業員 100 人以上)がすでにこの技術を使用していると回答し、さらに 21%がリアルティキャプチャツールの導入を計画している。

**Tekla の 2024 年のアップデート：BIM コラボレーション改善**

[Tekla's 2024 updates focus on improved collaboration around BIM](#)

- ・鉄骨とプレキャストのユニット図面作成のための自動化ツール
- ・BIM コラボフォーマット(BCF)などのオープンスタンダードをサポートすることで、業界のワークフローとの連携を強化 など、

**[SPAR2024J 参加受付開始](#)****20周年記念 SPAR2024J
第20回3次元計測フォーラム**

5月7日(火), 8日(水) 大田区産業プラザ(PiO)

人工知能が AEC 業界にインパクトを与えた 6 つの事例

[Six examples of artificial intelligence making its impact on the AEC industry](#)

AI ブームには、あらゆる分野でプラス面とマイナス面があるが、AEC のように熟練労働者の不足が大きなマイナスの影響を与えていた業界では、ポジティブな面は明らかであり、ここ数か月にわたって Geo Week News で広く取り上げてきた。

- Poliark、生成 AI ベースのデザインプラットフォーム
- Graphisoft が Archicad AI ビジュアライザー
- Avvir は、より効率的な建設ワークフロー など



COMMERCIAL UAV NEWS

建設業で「箱入りドローン」利用広がる

[Drone-in-a-Box-Solutions for Construction: What are the Options?](#)

複雑なオペレーションと進化し続ける需要を持つ建設業界は、プロセスを合理化し、生産性を向上させるためにドローン技術を採用している。新たな解決策の 1 つが Drone-in-a-Box(DiaB)コンセプトで、特定のシナリオでゲームチェンジャーとして際立っている。これらの自動化システムは、建設プロジェクトの最初から最後までの監視、調査、管理の方法に革命をもたらす可能性がある。



Skydio Dock(スカイディオドック)

[Skydio Dock](#) は、遠隔操作と AI を活用し、企業は継続的な監視、再点検、定期的なパトロールを行うことができ、リモートでオンデマンドの可視性を提供する。



Percepto Air (パーセプトエア)

[Percepto Air](#) は、RGB とサーマルカメラを搭載、AI と [Percepto AIM](#) を統合し、自律型検査・監視プラットフォーム



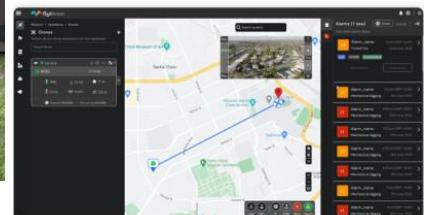
Hextronics (ヘクストロニクス)

[Hextronics](#) の DiaB システムは、現場調査、進捗状況の追跡、データ主導の意思決定を容易にし、最終的にプロジェクトのタイムラインを迅速化し、より高い精度を確保



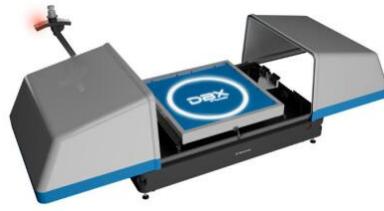
FlytBase DiaB Software Solution

[FlytBase](#) の DiaB ソフトウェアソリューションはドッキングステーションではないが、プラグアンドプレイでハードウェアに依存しないソリューションであり、すべてのドッキングステーションと互換性がある。



H3 Dynamics

DBX-G7 は、マッピングと測量、検査、建設監視などのために設計されており、目視検査プロセスを自動化およびデジタル化し、あらゆる都市の構造物や建物に関する情報のアクセス可能なレイヤーを作成できる。



DJI ドック

DJI Dock は、DJI M30 または M30T ドローンを搭載し、DJI FlightHub 2 と連携して動作する、リモートおよび自動ドローン操作を容易にし、オンデマンドでデータを収集する。



SkySafe の調査：ドローン業界のリモート ID 対応が不十分

New SkySafe findings highlight a lack of Remote ID readiness across the drone industry

評価対象となった 7 社のドローンメーカーのうち 1 社は、導入を完璧に実行していましたが、他のメーカーは、混乱を招くような結果から「悲惨な結果」になる可能性があるものまで、さまざまな結果であった。

非常に複雑な取り組みであり、収束までに時間がかかりそう。

FULLY READY		Skydio
MINOR ISSUES		dji
NEEDS IMPROVEMENT		Parrot
MAJOR FLAWS		AUTEL ROBOTICS
NOT COMPLIANT		EXO SwellPro YUNEEC

Amazon Drone Delivery の最新情報

What's the latest with Amazon Drone Delivery?

過去数年間、Amazon はドローン配送サービスに取り組み続けてきたが、その進捗状況に関する最新情報を確認するのは困難でした。

アマゾンが乗り越えていた技術的・規制上のハードルは、今年の初めに見出しを飾ったが、主要な人材の喪失はその後、年末まで続いた。このような展開により、同社にプログラムの閉鎖を求める声も出てきた。困難にぶつかりながらも、何とか進めていく予定。



商用ドローン連盟と AUVSI:FAA の UAS リモート識別ガイド発表

Commercial Drone Alliance and AUVSI Release Guidance on the FAA UAS Remote Identification Rule

詳細については、www.commercialdronealliance.org を参照。



有人と無人機の事故調査の課題、Part3:余波

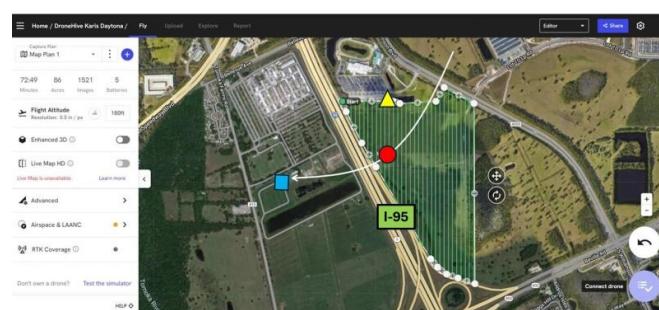
The Challenge of Investigating Accidents Between Crewed and Uncrewed Aviation, Part 3: The Aftermath

2023 年 12 月 30 日、デイトナビーチ国際空港(KDAB)付近でヘリコプターとドローンが空中で衝突。幸い。人的被害は起こらなかったが、原因究明で紛糾しており、大きな問題として取り上げられている。

調査推移、証言など、詳しく報告されている。



NTSB の最初の報告書では、ドローンのパイロットは「意思決定/判断」に問題があり、「手順の知識」に欠陥がある可能性があることが判明しました。新しいレポートでは、両方のパイロットにまったく同じ問題で欠陥があることが判明した。



HYSKY Society : 2024 年商用 UAV エキスポと共催 HYSKY Society to co-locate with Commercial UAV Expo in 2024

Commercial UAV Expo 2024 は、HYSKY Society の水素航空教育をもたらすための戦略的コラボレーションを発表した



Embry-Riddle と Women and Drones 提携：女性飛行士の機会拡大 Embry-Riddle and Women and Drones Partner to Expand Opportunities for Female Aviators

エンブリー・リドル航空大学と、女性を STEM 分野でのキャリアに導くことを目的としたネットワーキング組織である Women and Drones は、最近、航空および航空宇宙の分野全体で女性の機会を拡大するために提携した。



Knightscope が Draganfly と覚書を締結 Knightscope Signs MoU with Draganfly

- Knightscope, Inc.(ナイトスコープ) : 公共安全に重点を置いたロボット工学および AI 技術のリーディングイノベーター
- Draganfly Inc. : ドローンソリューションおよびシステム開発が提携し、自律型サービスを開発する。



Centrepolis Accelerator と blueflite が協力：ドローン技術 Centrepolis Accelerator and blueflite Extend Collaboration to Propel Drone Technology Forward

Centrepolis Accelerator と blueflite 協業の第 1 段階は大成功を収め、blueflite の先進的なドローンの製造技術の進歩 :

Centrepolis Accelerator は設立以来、375 社以上の企業と協力し、360 社以上の新規雇用を創出し、150 以上の製品を商品化し、8,000 万ドルの収益または新規投資。

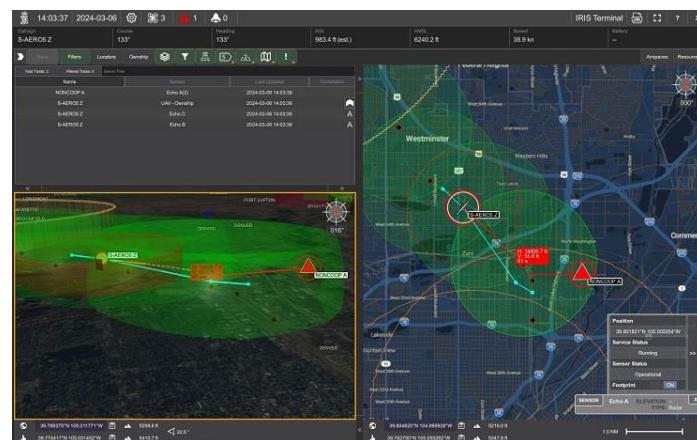


Kongsberg Geospatial : Echodyne レーダーを IRIS ターミナルに追加

[Kongsberg Geospatial adds Echodyne Radar to IRIS Terminal](#)

Advanced Air Mobility (AAM) アプリケーション向けの Beyond Visual Line of Sight (BVLOS) 運用を加速および拡張した。

現在第2世代となる IRIS ターミナルは、防衛の起源から民需用 UAS 部門に適応し、空域交通を視覚化し、GCS 形式で無人システムを制御している。



Lilium と Atlantic Aviation が提携：全米の地域エアモビリティ電動化

[Lilium and Atlantic Aviation Unite to Electrify Regional Air Mobility Across the U.S.](#)

リリウム 初の全電動垂直離着陸機(eVTOL)の開発会社である N.V.は、固定ベースオペレーション(FBO)および航空サービスプロバイダーの大手である Atlantic Aviation と提携し、Lilium Jet の米国での今後の地域エアモビリティサービスの開始に向けて、100 を超える FBO のアトランティックネットワークを準備した。



ideaForge の Q6 クワッドコプターが DGCA 型式認証を取得

[ideaForge's Q6 Quadcopter Receives DGCA Type Certification](#)

世界有数のドローン技術・製造企業である ideaForge Technology Limited は、同社の主力製品の 1 つである Q6 UAS について、DGCA(民間航空総局)による型式認証を取得了。

インドを代表するクワッドコプターとして知られる Q6 は、さまざまな用途での比類のない性能、信頼性、自律性により、防衛および民間部門で高い評価を得ている。



英国のドローン定常飛行ルート設定シミュレーション

[Pioneering simulations pave the way for routine drone flights in the UK](#)

英国で最も忙しい空港のいくつかで遠隔操縦ドローンが運航されるという見通しは、航空交通管理サービスである NATS による 一連の先駆的なシミュレーションにより、現実に一步近づいた。

都市部、遠隔地、農村部、島嶼部に住む人々にケ



アを提供する方法として、ドローン技術の活用が現実になりつつある。

FlyingBasket : イタリアでの軽量 UAS 運用認定を取得

[FlyingBasket Gets 1st Light UAS Operator Certificate in Italy](#)

[FlyingBasket](#) は、イタリアの航空当局である [ENAC - Ente Nazionale Per L'Aviazione Civile](#) から軽 UAS オペレーター証明書をイタリアで初めて付与された。

FlyingBasket は、イタリアのボルツアーノに拠点を置くイタリアの会社で、可搬重量 100kg の貨物ドローンの設計と製造を専門としている。



Dronecode Foundation 年次報告書 : オープンソース活動称賛

[Dronecode Foundation Annual Report Celebrates the Open-Source Drone Community](#)

先週発表された [Dronecode Foundation](#) の [2023 年年次報告書「Year in Review」](#) は、「オープンソースのドローンコミュニティをサポートする」「エコシステムの成熟度の高まり」を称えている。

このレポートでは、PX4 オープンソースドローンの状況に関する新しい洞察を詳述し、自律型技術を構築している貢献者や組織を深く掘り下げている。このグループは、Linux Foundation の一部であるオープンドローンプロジェクトのためのベンダー中立の財団である。



韓国仁川市が IAIAC および MITRE と提携 : AAM の運営コンセプトを発表

[Incheon Metropolitan City Partner with IAIAC and MITRE](#)

航空宇宙産業学連携研究所 (IAIAC) および MITRE Corps と提携交通ネットワークにうまく統合するための包括的な戦略」を策定する。

仁川市は、島嶼部へのアクセスが近く、主要な空港や港など、幅広い特徴を備えているため、同市の AAM 戦略は、他の自治体の青写真として価値がある。



NATS サービスと Altitude Angel が提携 : 統合交通管理サービス

[NATS and Altitude Angel partner](#)

英国の大手 ANSP の商業部門である NATS Services と、統合交通管理 (UTM) の世界的リーダーであり、165 マイルの英国のドローンスーパーハイウェイの作成者である [Altitude Angel](#) は、ジュネーブで開催される Airspace World Expo にて、新しい空域ユーザーの空の管理方法に革命をもたらす戦略的商業パートナーシップを発表した。





Association for Unmanned Vehicle Systems International

FAA リモート ID 規則 全面発効

[FAA Remote ID Rule for Drones Takes Full Effect - FLYING Magazine](#)

米国のドローンパイロットやメーカーは、ドローンに遠隔識別技術が搭載されていない場合、罰金や停職処分を受けることになる。

UAS の一意の ID 番号、位置、高度、速度などの情報を 2~3 マイルの範囲で送信します。そのデータ(個人識別情報は含まれません)は、民間および公共の利害関係者に提供され、FAA に危険な飛行を警告したり、航空機の着陸を要求したり、単にドローンに関する詳細情報を調べたりすることができます。

農業と防衛用 UAV 向けの LEMO の接電アプリ

[LEMO'S LEADING CONNECTIVITY SOLUTIONS FOR UAVS IN AGRICULTURE AND DEFENSE](#)

ドローンと地上ステーションと電力および信号の接続性(コネクティビティ)は、極めて重要である。LEMO のオリジナルプッシュプルシリーズは、航空宇宙、防衛、農業など、さまざまな市場における配電のための最も特殊で厳しい接続要件を満たしている。M シリーズコネクタは非常にコンパクトで堅牢で、屋外用途や要求の厳しい環境で光ファイバーを介して完全なセキュリティで機密情報を運ぶように特別に設計されている。防水性があり、固体物や液体がプラグに浸透するのを防ぐために何層ものシーリングが施されており、極端な温度や高湿度にも耐性がある。



<イベント 海上防衛展>Sea-Air-Space 2024,

2024, April 8-10.

米国海軍連盟が運営する Sea-Air-Space は、世界中の防衛産業のリーダーや主要な軍事意思決定者が海事分野を取り巻く最新情報を共有する、米国有数の海事博覧会である。

<Dawn of Autonomy, Episode 12>

完全性、信頼性、生産性で飛行距離を延長することを可能にする。現実世界の課題に対して、より堅牢で信頼性が高く、安全なドローンソリューションを作成するための Horizon Aerobotics の研究開発





FAA: ドローンの遠隔識別に関する執行方針終了

[FAA Ends Discretionary Enforcement Policy on Drone Remote Identification](#)

2023年9月、FAAは、リモートIDのルールを遵守できなかったドローンオペレーターに対して強制措置を取るかどうかを決定する際に裁量権を使用する方針を発表したが、このポリシーは2024年3月16日に終了する。

<https://youtu.be/DPygWZ3jyAo> 3min 28sec

登録が必要なドローンを操縦するパイロットは、リモートIDルールを遵守する必要がある。



オーストリア：チロル森林再生をドローンで支援

[Drones Aid Reforestation in Austria's Tyrol Forest](#)

<https://youtu.be/NSHDBIOBpck> 1min 36sec

森林伐採の危険にさらされている森林地域を保護するためのパイロットプロジェクト



パリ 2024 オリンピックの安全を守るドローン対抗

[Anti-Drone Units to Keep Paris 2024 Olympics Safe](#)

パリ郊外のヴィラクブレーの軍事基地は、警察、憲兵隊、陸軍将校が協力してドローンの脅威を封じ込める反ドローン調整センターの本拠地となる。



破産した PrecisionHawk 機器：4月に競売に

[Bankrupt PrecisionHawk Equipment to be Auctioned in April](#)

100機以上のドローン、50台以上の独立したセンサーユニット、(20台)に加えて補助カメラとレンズ、補助充電ステーション、その他のアイテムのオンラインのみの米国連邦破産オークションが開催されます。



**COMMERCIAL DRONE AUCTION
ONLINE BIDDING ONLY**



ANRA Technologies とエストニア航空: U-space テストセンター

[ANRA Technologies and Estonian Aviation Academy to Establish U-space Test Center in Estonia](#)

無人交通管理および運用ソリューションのグローバルプロバイダーである

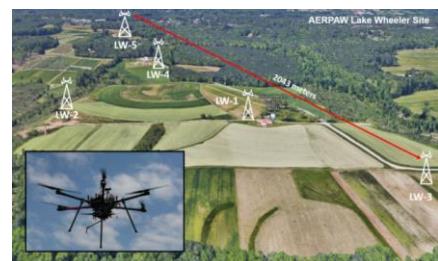
[ANRA Technologies](#)は、将来の航空人材の教育と訓練を使命とする国営機関であるエストニア航空アカデミーとの戦略的パートナーシップを発表した。



AERPAW :5G/ ドローン向け無線テスト場

[AERPAW Wireless Testbed for 5G/Drone Convergence Launches Second Phase](#)

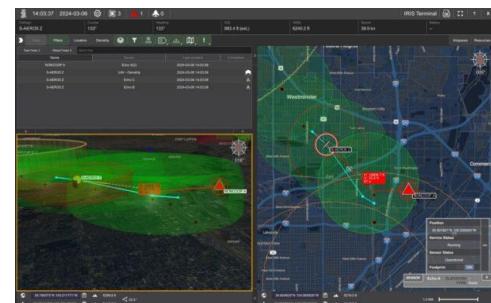
Platforms for Advanced Wireless Research(PAWR)プロジェクトオフィスは、4G/5G 技術と自律型ドローンの融合を研究する最初のワイヤレス研究プラットフォームである [AERPAW](#) を大幅に拡張し、第 2 段階の運用を開始することを発表した。



Kongsberg Geospatial : IRIS Terminal に Echodyne Radar 追加

[Kongsberg Geospatial Adds Echodyne Radar to IRIS Terminal](#)

IRIS Terminal と IRIS GCS 空域の競合解消ソリューションの開発企業である [Kongsberg Geospatial](#) (KG) は、レーダー プラットフォーム企業である [Echodyne](#) と提携し、Advanced Air Mobility (AAM) アプリケーション向けの Beyond Visual Line of Sight (BVLOS) 運用を拡張した。



英国 Future of Flight : 空飛ぶタクシーにむけ前進

[UK Future of Flight Action Plan Brings Flying Taxis Closer](#)

空飛ぶタクシー、犯罪と戦うドローン、重要な 999 ケア デリバリーはすべて、2030 年までに実現する計画。



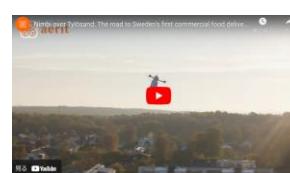
「空飛ぶ牛乳缶」 ドローン：スウェーデンで食品ドロップデリバリー

['Flying Milk Can' Drones to Extend Deliveries in Stockholm Area](#)

<https://youtu.be/8erYNH-UJbM>

1min 10sec

スウェーデンの一部に住む人々は、まもなくドローンによる食料配達を受け取るようになる。昔ながらの牛乳輸送缶のようなマルチコプターを利用したこのサービスは、今後、全国および海外に導入される可能性がある。



日本の Terra ドローン : Aloft Technologies に投資し、米国市場に参入

[Japan's Terra Drone Invests in Aloft Technologies to Enter US Market](#)

Country	Drones	Manned Aircrafts (Fixed-wing/ Rotorcraft)
U.S.	790,918. (As of the end of December 2023)	174,336 (As of the end of December 2022)
Japan	331,202 (As of the end of February 2023)	2,812 (As of the end of January 2024)

Figure 1: Number of registered drones and manned aircraft in the U.S. and Japan



上野 祐樹 Terra Drone 執行役員

「人口密集地の上空では、安全確保のための規制が山ほどあります」と、Terra Drone の執行役員である上野祐樹氏はインタビューで語っている。「しかし、UTM のようなシステムがあれば、目視外で行動したり、もう少しリスクの高いエリアを飛行したりする機会が得られるだけでなく、UTM によってすべてがデジタル化され、自動化され、適切に管理されるようになる。」

Rotor Technologies と Robinson Helicopter : 無人ヘリコプター技術で協業

[Rotor Technologies and Robinson Helicopter Company Collaborate on Uncrewed Helicopter Technology](#)

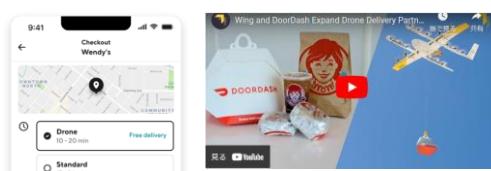


Wendy ドローン : バージニア州でビギーバッグを空中投下

[Wendy's Drones Begin Airdropping Biggie Bags on Virginia](#)

ウェンディーズの商品のほとんどは、飲み物や唐辛子などのデリケートな商品も含めて、ドローン配送の対象になる

<https://youtu.be/RuLccnP7dP0>



Anduri : 新型徘徊型弾薬 Altius

[Anduril Industries New Loitering Munition Altius](#)

[700M Hits All Targets in Successful Test](#)

地上車両から発射されたこの弾薬は、75 分の飛行時間で最大 100 マイルに達するという驚くべき航続距離を示しました。https://youtu.be/4RL_sHgEYww 1min 26sec

700M すべて標的に命中成功



Baykar : Akinci に多くの武器を統合

[Baykar Integrates More Weapons on Akinci](#)

https://youtu.be/er_jJJ_uQ4w 53sec

トルコ [Baykar](#) 社は、無人機 Bayraktar Akinci に、さらに多くの武器を搭載した。

https://youtu.be/er_jJJ_uQ4w 53sec



英国国防省 : DragonFire レーザー兵器テストの映像を公開

[UK Ministry of Defence Releases Footage of DragonFire Laser Weapon Tests](#)

英国は、新しいレーザー兵器「DragonFire」を公開した。国防省によると、この兵器は非常に正確で安価で、1発あたりわずか13ドルしかかからないという。英国国防省は、レーザー兵器「ドラゴンファイア」の試験中の新たな映像を公開した。



[NORAD 司令官:南部国境での UAS 侵入は月間 1,000 件を超えると報道 NORAD Commander: Incursions by UAS on Southern Border Likely Exceed 1,000 per Month](#)

国境沿いの無人航空機の侵入の正確な数は不明のままだが、2月 5 日にノースコムと北米航空宇宙防衛司令部の司令官に就任したギヨーは、最近、米国税関・国境警備局と司法省の当局者と話しているうちに、およその数を知ったと述べた。



[モルディブ国防軍 : Bayraktar TB2 ドローン打ち上げ](#)

[Maldives President Launches National Defense Force Bayraktar TB2 Drones](#)

無人偵察機が打ち上げられ、ムイズ大統領は、N.マーフアル空港で行われた式典で、作戦の運用を許可する命令に署名しました。



[ウクライナ : ソビエト時代の Tu-143 Reys UAV を神風ドローンとして再利用](#)

[Ukrainian Soviet-Era Tu-143 Reys UAVs Repurposed as Kamikaze Drones](#)

ウクライナは、ロシア国内の軍事・産業目標を攻撃できる兵器(あらゆる兵器)を見つけるために、冷戦時代の遺品の在庫を調査



[GA-ASI: MQ-9B SeaGuardian から Sonobuoy 発射テスト](#)

[GA-ASI Tests Sonobuoy Dispensing System with MQ-9B SeaGuardian](#)

SDS ポッドは 8 機の AN/SSQ-53 ソノブイと 2 機の AN/SSQ-62 ソノブイを投下した。分注後、ソノブイはシーガーディアンの船上ソノブイ監視制御システム(SMCS)によって正常に監視されました。

ソノブイ : 海中に投下し、敵の潜水艦の音を検知し、基地局に送信する。



ロシアの GPS 攻撃の中でポーランドに緊急着陸した米国の Reaper

[US Reaper Made in Emergency Landing in Poland Amid Russia GPS Attacks](#)

米国とポーランドの当局によると、NATO の東側を横切る GPS ジャミングの急増により、バルト海周辺の空域に対する懸念が深まる中、火曜日にポーランド領空を飛行中に米軍のリーパーが緊急着陸した。



GA-ASI が Predator Mission Trainer に新機能を追加

[GA-ASI Adds New Capabilities to its Predator Mission Trainer](#)

GA-ASI と [CAE-USA](#) が共同で開発した新しい PMT Plus ソフトウェアにより、国際線乗務員は最新バージョンのオペレーショナル・フライト・プログラム(OFP)ソフトウェアと、自動離着陸機能(ATLC)などの最新機能で訓練することができる。



QinetiQ : 新型ラトラー超音速ターゲットの初飛行成功

[QinetiQ Reports First Successful Flights of New Rattler Supersonic Target](#)

[QinetiQ](#) は、米国国防総省およびホワイトサンズ・ミサイル射場高エネルギーレーザーシステム試験施設(HELSTF)と提携し、最初の 2 機のラトラー超音速標的 MkI の飛行に成功したと発表しました。

[ラトラー-ST](#) は、さまざまな高度なミサイルの脅威をエミュレートし、脅威の再現、運用訓練、システム評価のために設計された費用対効果の高い超音速ターゲットプラットフォームである。

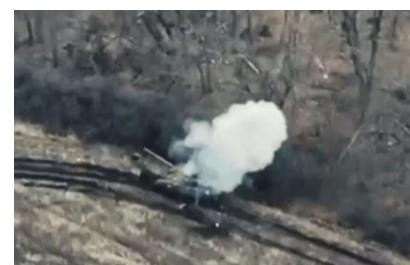
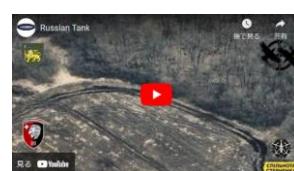


ウクライナ軍: 自動化 FPV ドローン成功

[Ukrainian Troops Successfully Use Autonomous FPV Drone](#)

<https://youtu.be/sZPw3akmq50> 48 sec

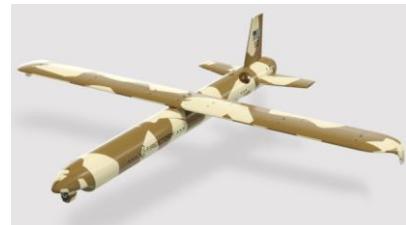
この無人機は、オペレーターの直接の命令なしに標的を攻撃する能力を実証し、ウクライナの軍事戦術における新たなマイルストーンである。



Firestorm Labs : Lockheed Martin 主導の\$12.5M 資金を取得

Firestorm Labs Gets \$12.5M Seed Funding Led by Lockheed Martin Ventures

Firestorm Labs は、カリフォルニアを拠点とする無人航空機システムメーカーで、遠征用積層造形をリードしている。



FA-50 Golden Eagle : 現存する最も安価で最強の戦闘機

FA-50 Golden Eagle – The Cheapest Most Powerful Fighter in Existence

戦術データリンク、EL/M-2032 レーダー、最新鋭の HUD、センサーを装備したフィリピン・ゴールデンイーグルスは、敵の位置を特定し、正確かつ致命的な攻撃を行う。

<https://youtu.be/r99SdtKBae8>



KAI T-50 ゴールデンイーグル(韓国語:골든이글)は、韓国航空宇宙産業(KAI)がロッキード・マーティンと開発した韓国の超音速高度ジェット練習機および軽戦闘機のファミリーです。[1] T-50 は韓国初の国産超音速機であり、世界でも数少ない超音速練習機の 1 つである。

< 訳者コメント >

- 1) リアリティキャプチャは、さまざまな分野で利用されているが、マーケットとしては、AEC 分野が圧倒的に大きい。
- 2) 「箱入りドローン Drone in a box」利用広がる。
遠隔、自動化の効果大
- 3) 米国 リモート ID 普及に苦労している。
日本も、よほど気を付けないと・・・
- 4) ドローン配達の先駆者・巨人 アマゾン 相変わらず苦戦続く、
- 5) 韓国 武器輸出が大きな財源。日本もやれるが、矜持を保ちたい。
- 6) Terra ドローン：米国市場に、徳重さんの世界観・野心 応援、

2024-03-24 SPARJ 河村幸二